

第106回番組審議委員会議事録

日時：令和5年9月20日（水）13時30分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原2丁目10番20号）

1. 委員総数8名
2. 出席人数6名
3. 出席委員の氏名

稲葉美津江 委員長・長橋順 副委員長・吉野渉 委員・
佐野智広 委員・内藤祐樹 委員・渡邊朱美 委員

4. 放送事業者出席者名

小沢教司 代表取締役社長 山本茂 放送局長

山本：本日はお越しいただきありがとうございます。今日は106回目の番組審議となります。まずは稲葉委員長から一言お願い致します。

稲葉委員長：こんにちは。9月に入りましたが、まだまだ暑いままが続きます。お体お気を付けてください。本日もご意見よろしくお願い致します。

山本：続いて、弊社社長 小沢からお願い致します。

小沢：本日もお暑い中、お越しいただきありがとうございます。番組審議委員は期間が2年となっております。この期間が今月で終わるわけですが、そのままご継続いただければありがたいです。皆様お仕事優先という事で、出席できる時にお願いできればと思います。本日も忌憚のないご審議お願い致します。

山本：続いて前回の審議内容についてのご報告ですが、いただいた内容で地元高校のエコヒイキ応援という所を評価いただきまして、審議で「現場の応援席レポートが必要ではないか。」とご意見をいただきました。来年以降、現場応援レポートを取り入れるなど、来年再来年へ特色ある番組作りを行っていきたいと考えております。

山本：今回審議していただく番組を紹介します。水曜日11時から11時30分まで放送している「@（あつと）富士市役所」です。番組は毎月第2・4水曜日に生放送。富士市役所駐車場に弊社の中継車をセッティングして、ラジオエフのナビゲーター、富士市役所シティープロモーション課1名、ゲストとして「その日のテーマ」の担当職員の3人が出演します。富士市の行政PR番組です。今日は9月13日放送分をお聞きください。

番組審議

- ・ 審議番組 @富士市役所
- ・ 放送日時 令和5年9月13日(水) 11:00~11:30
- ・ 出演 ナビゲーター白鳥志奈
富士市役所シティープロモーション課職員1名
都市計画課職員1名
- ・ 番組編成制作方針、説明
- ・ 質疑応答

約10分後

山本：それでは審議のほど、よろしくお願ひ致します。

稲葉委員長：ただいまから審議を始めたいと思います。何か気が付いたこと、ご意見ありますか？

長橋委員：ラジオエフならではの企画。担当職員の活舌もよかった。バスの日イベントの内容もパンフレットなどで見るより、ラジオの声、話し言葉で聴ける方が良い。後半プライベートの話があったが、賛否両論あると思う。私個人としては良いと感じ、興味深かった。各担当課のテーマも大切だが、その人の「人となり」がわかってよい。役所の人って、公務員で冷たい感じがするが、@富士市役所を聴くと、職員が温かみのある人だな思いました。富士宮市役所はやっていないのか？

山本：富士宮市役所では行っておりません。

長橋委員：富士宮市役所もあってもよいと思います。良い番組だと思う。

稲葉委員長：富士宮市役所も欲しいですね。

渡邊委員：市役所職員に親近感がわきますよね。

山本：富士宮市役所に話を持っていき聞いてみるのもよいですね。

小沢：営業部長に話すように伝えます。

渡邊委員：広報富士宮の代わりにラジオをやってもらうといいですね。

長橋委員：職業柄、活字を読むんですが、仕事以外で活字は読みたくないのでラジオの声、話す内容が頭に入ってくるのでストレスが無く心地よい。

内藤委員：スポンサーになってもらわないとだめですよ？

山本：その通りでございます。ぜひ富士宮市役所に市民の声をあげていただければと思います。私共としては、スポンサーだされてる、されていない関係なく、富士宮市の情報も番組に取り入れておりますが、行政からの協力があるとうれしいです。

小沢：富士宮市の情報は金曜日の中継で取り上げる率が高いです。そういった魅力を行政がわかっていたらと思います。

稲葉委員長：つづいて内藤委員お願いします。

内藤委員：市役所職員の人柄も知れて、良い意味で井戸端会議を聴いているようで心地よかったです。シティープロモーション課の鈴木さんの立ち回りもよく、リスナー目線や鈴木さんからの質問もあり、誰かが一方的に話すことが無かった。そんな内容で井戸端感がある演出になっていて、番組構成が巧みだなと感じた。1対1で話すのは楽だが3人で話すのは難しく、それを感じさせない内容でよかったです。

吉野委員：確かに皆さんが言っているように、内容はすごくよく小さい子供を持つ親としてイベントの情報があるのはとても助かる。こういった情報が耳に入ってくると行ってみたいと感じました。内容が面白いので、番組名を若い人が引き付けられる名前にしても良いのかではと思いました。

内藤委員：確かに若い人が気になる番組名も必要かもしれませんね。

稲葉委員長：つづいて佐藤委員いかがですか？

佐藤委員：市役所の人とは思えない活舌の良さと、質問に対しての答えがすぐ出てきて、聴いている側に対して聞きやすかった。番組名の@富士市役所、市役所の紹介をするイメージがありますが、市役所が行うイベントって広報誌のみでの告知が多いと思う。そういった事を考えるとラジオで行う事に新鮮さを感じた。富士宮の場合、商店街のイベントで商店にチラシやポスターで告知を行っているの、商店街に行かなければ知らない。8月に御神火まつりという30年以上続いている祭りを開催したが、同年代が一度も行った事

もなく、祭りも知らなかったと話していた。情報発信をするにはチラシや SNS だけではなく音声で行う必要を感じた。市役所の若い人達をもっと出演させて親しみやすさを感じさせると良いと思う。

渡邊委員：確かに SNS だと遠方の方がイベントに来てくださる。しかし、地元の人たちに知られていない。富士宮のイベントで SNS 以外にラジオエフを聴いて来た富士市からも来てくださった。そういった意味で不特定多数が触れるラジオで放送する必要性はおおいにあるかと感じた。番組内容ですが三人のお話を隣でふんふんと聞いている感じで聴けて良かった。市役所職員への親しみを感じた。ただイベントの告知としては情報不足さを感じた。イベントの日時や場所をもっといってあげれば良かったのではと感じました。

稲葉委員長：出演しているシティープロモーション課の人はいつも同じですか？

山本：あるていど固定されていると思います。

稲葉委員長：とっても慣れていて良かった。

渡邊委員：声のトーンも良いし、切り返しも良かった。

稲葉委員長：ゲストの都市計画課の人も声のトーンや話し方が良かった。番組の中でピーやピロロンなどの音が聞こえたがなにか？

山本：電子音のある BGM を使っていると思います。

稲葉委員長：現場の音なのか BGM かわからなかったの。この番組は市役所以外のイベント情報は出しているのか？

山本：富士市がスポンサーなので市役所のイベントや告知が主になります。

稲葉委員長：何かほかにご意見ありますか？

小沢：そろそろお時間となりました。本日もありがとうございました。

次回は 11 月 15 日水曜日お願い致します。

議事録の公表：令和 5 年 10 月 1 日 自社ホームページにて公表